

## 阿倍野・聖天山で観察された生き物調査報告書 コース No.17

報告者:北川ちえこ

日時:2018年1月21日(日)10:00~15:00 晴れ

調査者:北川ちえこ、忍喜博、中谷憲一、林耕太、栞元慶子、松川欣二(6名)、一般参加者5名(※飛び入り参加・親子:大人1名、小人2名)

事務局:岩崎江利子

コース:阪堺電車「北畠駅」~北畠中央公園~住吉高校~阿部野神社~天神ノ森公園~正圓寺~聖天山公園・マップ No.2~5

天気がよく、思ったより暖かく、小さな公園での昼食時も寒くありませんでした。冬場は地面をほうろくを見るのに、腰をかがめ目を凝らさなくてはならず、結構つらいです。ほとんどがごくありふれた野草ですが、どんな発見があるか分からないので、地面に緑を見つけると見過ごすことができず、地図の書き込み場所が増えてしまいます。公園ではノビルやヤブヘビイチゴが普通に見られました。正圓寺では遠目ではミカンと思って近づいたところ、キカラスウリの実が大量にぶら下がっていました。前回アベマキが自生しているのを見つけましたが、今回はナラガシワを見つけました。毎回調査している奥の院でのことですが、あの木何の木と疑問をもって近づき、初めて分かりました。阿部野神社ではウバタマムシの死骸、正圓寺ではヤマトタマムシの翅が見つかり、この辺りではタマムシは普通にいることが分かりました。鳥の数は少なかったと思いますが一通りの種は見られました。冬は何も無いと思っていましたが、古い街には色々驚かされる発見がありました。虫好きのこどもさんたちとお父さんの飛び入り参加も、強力な味方となり、神社の壁に残るカマキリの卵塊や、アオスジアゲハの蛹など色々見つけてもらいました。改めて壁面も虫の宝庫と気づかされました。

植物、昆虫等虫類、鳥の状況を数字で表示します。

1:葉、卵 2:花、幼虫、幼鳥 3:果実、蛹 4:実生、成虫、成鳥 0:その他 植:植栽

※実生は150cmまでを4と表示しそれ以降は通常の状態番号とします。

※植栽樹木は位置の目安として、または花や果実がついている場合のみ記録した。

※2分の1地域メッシュコード(総務省)で分割し、そのコード番号の横( )内に記載したNo. は旧「みどり」と生き物会議」で使用した大阪市域500mメッシュナンバーである。

※植物科名は2017年度より新エングラ体系からAPG体系に変更した。

メッシュ No.513574501 (787)

北畠中央公園

アカネ科…ヤエムグラ 1

アカバナ科…コマツヨイグサ 1

アブラナ科…イヌガラシ 1、マメゲンバイナズナ 2,3、ミチタネツケバナ 1

イネ科…イヌムギ 2、スズメノカタビラ 2

ウラボシ科…ノキシノブ 1(エノキに)

オオバコ科…オオバコ 1

カタバミ科…オッタチカタバミ 1、カタバミ 1、

ムラサキカタバミ 1(全域に多い)

カヤツリグサ科…ナキリスゲ 3

キク科…アメリカオニアザミ 1、ウラジロチチコグサ 1、

オニタビラコ 1、セイタカアワダチソウ 1、

セイヨウタンポポ 3、タチチチコグサ 2、タンポポ sp1、

ノゲシ 1、ノボロギク 1、メリケントキンソウ 1、ヨメナ 1、

ヨモギ 1

シソ科…ホトケノザ 1



集合場所の北畠駅:路面の阪堺電車に乗られるのも、楽しいです。180121 撮影 北川ちえこ

セリ科…ヤブジラミ 1  
 センダン科…センダン 3  
 ダイダイキリ科…ツブダイダイゴケ 1  
 タデ科…イヌタデ 3  
 トウダイグサ科…ナガエコミカンソウ 3  
 ナス科…イヌホオズキ 2,3  
 ナデシコ科…オランダミミナグサ 1、コハコベ 1、  
 ミドリハコベ 1

バラ科…ヤブヘビイチゴ 1(多い)  
 ヒガンバナ科…スイセン 2(植)、ヒガンバナ 1  
 ヒルガオ科…アオイゴケ 1  
 フウロソウ科…アメリカフウロ 1

マメ科…カラスノエンドウ 1、シロツメクサ 1

メギ科…ナンテン 3(クスノキに)

動物…シジューカラ 4、スズメ 4、ハシブトガラス 4、ヒヨドリ 0 声、4、メジロ 4、クスベニヒラタカスマカメ 4、  
 クマゼミ 0 羽化殻、クロヒラタアブ 4、タカラダニ 4、ハリブトシリアゲアリ 4、ハラビロカマキリ 1 卵塊、  
 ヒロヘリアオイラガ 0 羽化後繭、マツカレハ 3(繭)、フクログモ 0 巣

※北島中央公園確認樹木

アラカシ、エノキ、クスノキ、センダン、ソテツ、ソメイヨシノ、トウカエデ



北島中央公園(晴明丘中央公園)

180121 撮影 北川ちえこ



クスノキの葉にクスベニヒラタカスマカメの食痕  
 北島中央公園(晴明丘中央公園) 180121 撮影 榎元慶子



エノキの幹にノキシノブ(左)、クスノキにナンテンの実  
 生(矢印)が生えていました(右)

180121 撮影 榎元慶子

### 住吉高校南歩道

トベラ科…トベラ 3(植)

動物…ジョウビタキ 4(雄)

メッシュ No.513574592(786)

### 住吉高校南歩道～阿部野神社前

アカネ科…ヤエムグラ 1

アカバナ科…メマツヨイグサ 1

イネ科…エノコログサ 3(立枯れ)

オオバコ科…タチイヌフグリ 1

オシロイバナ科…オシロイバナ 1

カタバミ科…ムラサキカタバミ 1

キク科…ウラジロチチコグサ 1、オニタビラコ 2、

コセンダングサ 2、セイタカアワダチソウ 1、



トベラ: はじけて赤い実がたくさんみえている  
 前はメジロがついていたが、今回はいなかった

180121 撮影 榎元慶子

チチコグサモドキ 1、ツワブキ 2(植)、ノゲシ 1、ヒメジョオン 2

クワ科…イヌビワ 2(花囊)

シソ科…ホトケノザ 1

スマレ科…スマレ sp1

セリ科…ヤブジラミ 1

トウダイグサ科…ナガエコミカンソウ 3

トベラ科…トベラ 3(植)

ナデシコ科…コハコベ 1

ハゼラン科…ハゼラン 3

ヒガンバナ科…ノビル 1

ヒユ科…ヒナタイノコズチ 1

フウロソウ科…アメリカフウロ 1

マメ科…カラスノエンドウ 1

ムラサキ科…キュウリグサ 1

メギ科…ナンテン 3(植)

動物…ヒヨドリ 4、クマゼミ 0 羽化殻



イヌビワ:葉を落とし、小さな丸いイチジクのような実だけがたくさんついているようすが愛らしい  
阿部野神社南東に隣接する民家に生えている  
180121 撮影 榎元慶子

### 阿部野神社

アブラナ科…ミチタネツケバナ 1

イネ科…エノコログサ 3、スズメノカタビラ 2

カタバミ科…ムラサキカタバミ 1

キク科…ノゲシ 1、ノボロギク 1

シソ科…ヒメオドリコソウ 1

ツバキ科…サザンカ 2(植)

ナデシコ科…オランダミミナグサ 1、コハコベ 1

バラ科…ウメ 2(植、紅)

ヒガンバナ科…スイセン 2(植)

動物…ドバト 4、ヒヨドリ 0 声、メジロ 4、  
ウバタマムシ 4(死体)



クロマツ倒木が柵やベンチ代わりに置いてあり  
楕円形の穴を複数発見  
180121 撮影 榎元慶子



顔出してるやん！ ウバタマムシ  
この種はマツ類の材に穴をあける  
180121 撮影 榎元慶子



ご神職に了解を得て、  
ほじくりだしてみる  
180121 撮影 榎元慶子



出てきたウバタマムシ死骸  
このあたりはタマムシが多いと  
ご神職がおっしゃっていた  
180121 撮影 榎元慶子

メッシュ No.513573594(757)

阿部野神社

- カタバミ科…オッタチカタバミ 1、カタバミ 1、ムラサキカタバミ 1
- カヤツリグサ科…ナキリスゲ 3
- キク科…オニタビラコ 1、セイタカアワダチソウ 1
- シソ科…ホトケノザ 1
- セリ科…ヤブジラミ 1
- ツユクサ科…ヤブミョウガ 3
- ナデシコ科…オランダミミナグサ 1
- 動物…アオスジアゲハ 3、ツヤアオカメムシ 4、ハラビロカマキリ 0 卵塊(抜けたあと)、クロガケジグモ 4



社殿を一周できる阿部野神社。社殿の壁や石塔などに、アオスジアゲハの蛹やハラビロカマキリの卵跡などあちこちに虫の痕跡がありました。

180121 撮影 北川ちえこ



アオスジアゲハの蛹が、壁や看板、板などにくっついていて、近くに大きなクスノキがある。180121 撮影 榎元慶子



アオスジアゲハの蛹 阿部野神社

180121 撮影 北川ちえこ

北畠住宅小公園～市営北畠住宅～北畠西公園

- アカバナ科…コマツヨイグサ 1
- イネ科…スズメノカタビラ 2
- カタバミ科…オオキバナカタバミ 2(植)
- キク科…ウラジロチチコグサ 1、オニタビラコ 1、セイタカアワダチソウ 1、タチチチコグサ 2、ノゲシ 2、ノボロギク 1、ヨモギ 1
- セリ科…ヤブジラミ 1
- タデ科…ヘメツルソバ 2
- ツヅラフジ科…アオツヅラフジ 1
- ツバキ科…サザンカ 2(植)
- ナス科…イヌホオズキ 1
- ナデシコ科…オランダミミナグサ 1
- バラ科…ヤブヘビイチゴ 1
- ヒガンバナ科…スイセン 2(植)
- フウロソウ科…アメリカフウロ 1
- マメ科…カラスノエンドウ 1、シロツメクサ 1



ハラビロカマキリ卵塊  
180121 撮影 榎元慶子



ヤブミョウガの実  
180121 撮影 榎元慶子

ムラサキ科…キュウリグサ 1

動物…スズメ0 声,4,

タカ sp4(上空に)、ハクセキレイ4、ヒヨドリ4、メジロ4、クストガリキジラミ2(虫こぶ)、クマゼミ0 羽化殻、  
チャミノガ4、ルリチュウレンジ4、コカニグモ4、キセルガイの一種4



クストガリキジラミの虫こぶ  
市営北島住宅北側のクスノキ  
180121 撮影 榎元慶子



北島西公園には大きなエノキがあり、  
ゴマダラチョウの幼虫を探したが見つから  
なかった 180121 撮影 榎元慶子

北島西公園～阪堺電車線路沿い～天神ノ森公園

アカバナ科…コマツヨイグサ 1

イネ科…スズメノカタビラ 2

アブラナ科…タネツケバナ 2、マメグンバイナズナ 3

オオバコ科…タチイヌノフグリ 1、ヘラオオバコ 1

カタバミ科…オオキバナカタバミ 2、ムラサキカタバミ 1

キク科…ウラジロチチコグサ 1、ノゲシ 1,2、

ノボロギク 1、ヨモギ 1

ケシ科…ナガミヒナゲシ 1

シソ科…ヒメオドリコソウ 1、ホトケノザ 1

タデ科…イヌタデ 3

ナデシコ科…オランダミミナグサ 2、コハコベ 1

メギ科…ナンテン 3(植)

ロウバイ科…ロウバイ 2(植)

動物…ツグミ 4、サンゴジュハムシ 0 食痕

※天神ノ森公園確認樹木

アキニレ、アラカシ、エノキ、キンモクセイ、クヌギ、

サルスベリ、サンゴジュ、トベラ、メタセコイヤ、ロウバイ

メッシュ No.513573692(728)

天神ノ森公園～阪堺線より一筋東の道路～正圓寺

オオバコ科…タチイヌノフグリ 1

カタバミ科…ムラサキカタバミ 1

キク科…オニタビラコ 2、コセンダングサ 2、ノゲシ 1,2、

マメカミツレ 2

ナデシコ科…コハコベ 1

ヒガンバナ科…ノビル 1、ハナニラ 1

ムラサキ科…キュウリグサ 1

※街路樹ウバメガシ(低木)にササが進入し、ササの中にウバメガシが見える



北島西公園のエノキの枝は大きく広がって、  
落ち葉も広い範囲に吹き飛ばされていた  
180121 撮影 榎元慶子



天神ノ森公園:今回初めて中を歩きました。  
ロウバイが咲いていました。180121 撮影 北川ちえこ



聖天さんで親しまれている正圓寺下に通る松虫通:手前の植栽地にはササがはびこって、本来植栽されていると思われるウバメガシが探さないと分かりませんでした。

180121 撮影 北川ちえこ



キカラスウリ:まさか、キカラスウリが繁茂しているとは思いませんでしたので、ミカンになっているのだと思いました。冬場に、しかも、こんな場所で、大量のキカラスウリが残り、本当に何が出るか分からない調査でした。

180121 撮影 北川ちえこ

### 正圓寺

- ウリ科…キカラスウリ 3
- キク科…オニタビラコ 1、コセンダングサ 1
- センダン科…センダン 3
- ツユクサ科…ツユクサ 1
- ヒガンバナ科…ノビル 1
- フウロソウ科…アメリカフウロ 1
- ムラサキ科…キュウリグサ 1
- 動物…ハラビロカマキリ 1 卵塊、  
ヒロヘリアオイラガ 0 羽化後繭、  
ヤマトタマムシ 0 上翅



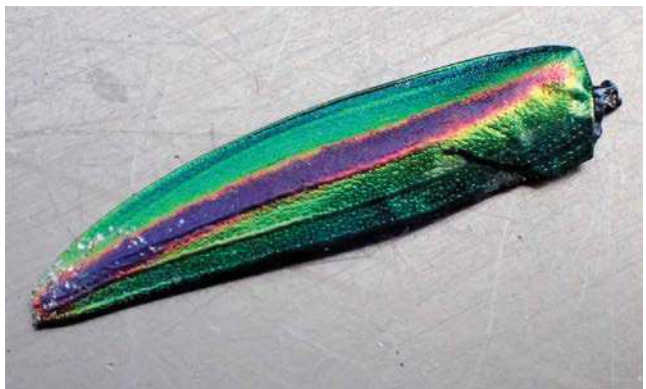
正圓寺:中央のシダレザクラが立派でお花見にはにぎわうそうです。お寺なのに鳥居が見られます。

180121 撮影 北川ちえこ



正圓寺:この辺りにヤマトタマムシの翅が落ちていました

180121 撮影 北川ちえこ



美しいヤマトタマムシの翅

西側の崖には大きなエノキがあり、枯れた枝や幹に穴をあけて育ったものかもしれない。

180121 撮影 梶元慶子

メッシュ No.513574601 (729)  
正圓寺奥の院～聖天山公園  
アカネ科…ヤエムグラ 1

イネ科…エノコログサ 3(立枯れ)  
 キク科…アメリカオニアザミ 1、セイタカアワダチソウ 1、ヒメムカシヨモギ 1(立枯れ状態)  
 クワ科…イヌビワ 4  
 ナデシコ科…オランダミミナグサ 1  
 ヒガンバナ科…スイセン 2(植)  
 ブナ科…アベマキ 1、ナラガシワ 0 落葉  
 動物…キジバト 4



ナラガシワの冬芽 180121 撮影 榎元慶子



奥の院・弁財天が祀ってあるところに大きなナラガシワがありました。こんな大きな樹を今まで見のがしていました。180121 撮影 北川ちえこ



ナラガシワの葉:裏には細かい毛がある。  
 180121 撮影 榎元慶子



アベマキの葉:裏はビロード状の毛があるのでクヌギと区別できる。180121 撮影 榎元慶子

聖天山公園(※多くの人が遊んでいた)

アカネ科…ヘクソカズラ 1  
 オオバコ科…オオバコ 1  
 セリ科…ヤブジラミ 1

ツツラフジ科…アオツツラフジ 1  
 ナデシコ科…オランダミミナグサ 1  
 ヒガンバナ科…ヒガンバナ 1  
 動物…ヒヨドリ 0 声

メッシュ No.513573692 (728)

聖天山公園

アサ科…エノキ 0 落葉(剪定後ではほぼ主幹のみ)  
 ※西入口近くのエノキ、樹周:230cm  
 動物…ドバト 4、ハシブトガラス4、  
 クロゴキブリ 2,4、ヤマトタマムシ 0 脱出孔、  
 ワラジムシ 4



樹周:230cmのエノキは、枝を払われ幹を残した状態  
 切りくずが新鮮で、伐ってからまだ日が浅い



前回見つけたイヌビワは周囲の高木の伐採や、建物の新築にもかかわらず、生えていた(矢印:黄葉が残る)  
 180121 撮影 榎元慶子



前回は確認したタマムシの穴の残る朽木を再確認  
 古くなると使われなくなるらしい  
 180121 撮影 榎元慶子



切株を囲んであれこれ推察  
 180121 撮影 北川ちえこ



最近伐採された切株を見つけると、習慣となった年輪を  
 数えています。ヒマラヤスギ? 50歳ちょっとか。  
 180121 撮影 北川ちえこ